

陳情第5号	受理年月日	令和7年2月4日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	学力最下位都市脱出について	
要旨	<p>ここ何年間も連続して、全国学力テストにおける北九州市の順位は政令指定都市中最下位である。都道府県レベルと比べても、北九州市より下のランクにいる県は沖縄県など数少ない。この事実を近所の人や学校のほかの保護者に話すと非常に驚かれる。皆さん御存じないのだ。</p> <p>教育委員会が配布している新聞には、〇〇ポイント改善したなどいい部分しか書いておらず、政令指定都市中最下位という事実はこの情報からは分からない。</p> <p>学力が向上しないことは、教育現場の様々な部分に影響している。住民や保護者の無知をいいことに、小・中学校では行き過ぎた事なかれ主義がはびこっている。大方の保護者は、昼間子供を預かってもらえればいい程度の認識なので、学校側としては、子供にけがをさせなければよい、保護者からのクレームがなければよい程度の後ろ向きな運営をする。個人で自己研さんしている先生に当たればラッキーだが、そうでない普通レベルの先生に当たると、北九州市では悲惨である。</p> <p>厳しい先生の場合、一通り教本どおりに授業をし、話の脱線はしない。児童は、授業が非常につまらないので遊んだり体を動かしたくなる。そんな教室の雰囲気や規律を律するために、五人組のグループをつくり、何かしらにつけ先生がそれらに難癖をつけ、罰ゲーム的な掃除や整頓をさせたりする。毎日嫌な雰囲気や規律のクラスだが、最初からそうなので、子供たちもそういうものだと思ったりして、ただひたすら我慢するようになる。</p> <p>優しい先生の場合、逆に児童に注意を全くしない。保護者からのクレームを出さないことが必須なので、たとえ授業崩壊していても叱らない。「授業中にいじめっ子に押されて少しだけけがをしました」との連絡が学校から来たりする。いじめっ子が自由に動き回る授業中とはどんな授業なのだろう。</p>	

(続 く)

学校にもよるが、挨拶運動にも力が入っていないことが多い。掃除もきちんとさせようとしないので、いつも廊下は汚い。教員も目に活力がなく、ぼーっとしていたりする。保護者と目が合えば挨拶するが、ただそれだけだ。そんな学校だと、事務職員や用務員さんのほうがテキパキしているように見えたりする。

教育委員会はいろいろなプロジェクトを掲げ、いかにもいろいろな仕事をやっているふりをする。それらの政策の案内が保護者にもその都度来るが、具体的に何をしているのかは多くの保護者は知らないし、保護者側もあまり興味を持っていなかったりする。

現状は、例を挙げれば切りがないほどの低レベルな学校になっている。ここはひとつ、市議会議員の皆様「学力テストで最下位を脱出するぞ!」、「将来は全国1位を目指すぞ!」と宣言していただきたい。この宣言にお金はかからない。市議会ですりやう方向で目標がつくられたとなれば、教育委員会は動き、点数を上げるべく多少の努力はするだろう。点数を上げるためには、これまでのような授業では到底無理なので、教員一人一人が自分で考えるようになるだろう。事なかれ主義では保護者は満足しないと分かれば、管理職の目も変わってくる。

このままでは北九州市の子供はみんな駄目になる。そして将来駄目な大人だらけになる。他都市から入ってきた人間なので殊さらそれを感じる。北九州市の先生方は基本的に真面目だが、その授業や管理の平均レベルはひどい。それがそのまま学力テストの点数に比例している。

議決したところで点数が上がる保証はないし、実際には1位になれないかもしれないが、最下位脱出宣言だけでも採択していただきたい。ついでには、下記のとおり陳情する。

- 1 毎年行われている全国学力学習状況調査における北九州市のランキングを市政だより及び教育委員会だよりに掲載すること。
- 2 政令指定都市中学力最下位を脱出し、脱出後にはさらに上を目指すことを市の目標にすること。